

三原市議会議員 あんどう志保 活動ダイアリー

## みどりのはらっぱ

ホームページ <http://shiho-ando.com/> 発行日/2016年8月 通算第8号  
発行/あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会

もくじ

3年間を振り返って…P.1  
マニフェスト……P.2・5  
ちょっと聞いて  
みるんじゃけど…P.3  
メッセージ……P.4  
これからの予定……P.6議員になって3年！  
あんどう志保の活動を振り返ります

三原市議会議員になって、3年が経ちました。「あんどう志保」に票を投じてくださった1545人の方々、そして選挙権はないけれど応援してくれた子ども達からの期待に応えることができているだろうかと振り返っています。

3年間、会派には所属していませんが、まず「人として受け入れていただける協調性と朗らかさ」そして「一貫した主張と強い意志」を意識して取り組んできました。議会の中で、明るさと「意外と頑固」という印象を持っていただけではないかと自負しています。

議員1期目では仕事はできないとか、無所属（会派に入らない）では無理とよく言われますが、「市役所の組織風土改革に絶対必要！」と思い、2年間言い続けたことが実現するなど、まだまだ小さなことですが、「変化の種」が芽を出し始めています。

市民活動として続けている環境問題への取り組みは、良い環境を「持続可能」な形で、「子ども・孫の世代に引き継ぐ」ためです。同じように、三原市を良い状態で次世代に引き継げるよう、今は特に行財政改革に力を入れています。市役所という組織全体や財政を理解することが必要なため、根気強くがんばっています。

2・5ページで、選挙に立候補した際の「約束（マニフェスト）」について振り返っています。この3年間の実績と課題をみなさんと共有し、三原を良くする手がかりにしたいと考えていますので、ぜひご覧ください。そしてご意見をお寄せいただければ嬉しいです。

あんどう志保



「みどりのはらっぱ」を、お友達、ご近所、職場などで配っていただけませんか？  
中面の返信ハガキでお知らせくださいませ。必要部数をお渡しします。

## 平成27年度政務活動費のご報告

|                                                        |           |
|--------------------------------------------------------|-----------|
| 資料購入（・公共施設マネジメントハンドブック・社会インフラの危機・地方自治体財務総覧）            | 24,624 円  |
| 研修受講（7/16～17）プロフェッショナル議員のための基礎講座シリーズ                   | 60,000 円  |
| 研修受講・旅費（10/7～9）<br>「地方財政制度の基本と自治体財政」                   | 47,788 円  |
| 研修受講・旅費（3/28）<br>「立地適正化計画～都市構造評価と公共施設の再編・集約計画策定手法と具現化」 | 69,600 円  |
| 市からの交付金額合計                                             | 202,012 円 |

# 人と人が出逢うまちづくり 人・もの・自然を大切に作るために

立候補の際に表明したことを、この3年間でどのように取り組んできたか、その一部ですが概要をまとめました。

## 政務活動

「三原ふるさと子ども博士講座 (H26 年度 / 全7回)」に同行取材し、子どもたちの学びや保護者の感動を生で体験しました。人口 5500 人の北海道十勝郡浦幌町の出生率アップのヒミツ「うらほろスタイル」を視察 (H26 年 2 月) しました。

三原市は、男女共同参画推進条例が制定済みの県内 6 市中、審議会等の女性委員の比率が最下位！そこで女性委員を増やすため設けられている女性人材育成講座に参加し、若者や参加者が少なく実際の登用につながっていない現状を体験してみました。

市長が選挙公約に掲げた「事業仕分け」について、広島県担当者・京都府議会の「仕分け」・自治体職員対象の研修で勉強しました。

市の行う各事業のスタート、ゴール、そして今どこまで到達しているのかが分かりにくいのはなぜ？市役所の部署ごとに書類様式が違うのはなぜ？

政府・NPO・自治体職員など幅広い講師の研修を受講し、立場の違いから見え方の違う自治体財政について、膨大な量の資料と格闘するべく、財政課によく出向。

三原市内での土木・建設などの工事、物品納入などに、もっと三原の業者を！という切実な声を市民のみなさんから多く伺いました。

学校給食における地産地消。三原市産食材の割合は、全体での目標 30%は達成されるも、東部 29.6%、西部 46.8%、北部 58.9%と調理場ごとに開きがあることを調査しました。(H26 年 3 月)

## 議会活動

島根県隠岐郡海士町の成果も参考に、**拡充すべき事業**であることを本会議で一般質問。

講座内容や、若者や参加者が少なく実際の委員登用につながらない流れの問題点を本会議で一般質問しました。そして、**①受講→②男女共同参画情報誌「with YOU」編集→③委員登用というステップアップの仕組みを提案。**

三原市では「事業レビュー」として H26・H27 年に実施。他市の好事例を把握し、この間に、3 回の本会議一般質問で市民の直接的な参画を求めて、無作為抽出による「**市民評価者**」を提案。

事業の提案、執行、評価の各段階において、事業開始当初の現状、目標、達成度が分かりやすい**各部署共通様式の資料**にしていきたいと思います。予算・決算の委員会でも 2 年間にわたって要望。

大切な税金をどのように使ってきて、どう使っていくのか、分かりやすく、十分に、情報提供する必要性を本会議で質問。

調査に必要な資料が膨大！気が遠くなりそうな状況の中、議会では総務財務委員会に所属し、契約に関する調査の提案などを行う。

この点を指摘し、その改善について本会議で質問。農水省の政策説明会に出席して**補助金情報をキャッチ、活用を提案。**

「ふるさと子ども博士講座」に県立大学の学生さんの**ボランティア参加が実現**しました。(H27 年度から)



さらなるスタッフの拡充や子どもの参加員 40 人の拡大、内容の充実を目指して活動します。

女性人材育成講座に**①から②の流れが実現**し、H27 年度から情報誌「with YOU」の編集と年 2 回の発行に成果を出せるようになりました。人材育成講座の内容も、それまでの聴講のみから参加者が話し合う時間ができました。



性同一性障害、LGBT も話題になるこの頃、多様な立場の多様な意見、特に弱い立場にある人の声がよく上げられる社会になることを目指します。

H27 年度実施の「**事業レビュー**」から、提案した「**市民評価者**」が**採用され**、市民評価者の方々、担当職員の双方から、「良かった」という感想が聞かれました。(H28 年も継続)

市の取り組む意見募集 (パブコム) やワークショップが「次の参加意欲」につながるように、市民の声が反映される仕組みづくりが不可欠。引き続き取り組みます。

H27 年度予算から、**説明資料の変更実現！**長期総合計画と連動した形になり、これまで「絵に描いた餅」になりがちだった計画目標が、**予算・決算時にしっかりチェックされるようになります！**「安藤議員にとって分かりやすい様式が、他の議員にもそうとは限りませんよ」とも言われましたが、他の議員からも好評です。(笑)

資料変更によって、「ゼロ予算事業」も可視化されました。予算がつかなくても、職員の頑張りが支える事業もあり、その評価もきちんと行うべきだと考えています。

H27 年度から**ホームページでの資料公開を充実**していただき、**自治体関係者・研究者から高評価**。他の自治体で議員が請求して「出し渡された」という資料が、三原市では誰でも見られるように公開されているのは素晴らしいことです。以前に比べて「広報みはら」の財政ページも工夫していただいています、気が付いていただいているのでしょうか？

公開情報の活用方法、伝え方など、まだまだ課題があります。国の制度改善に向けた研究にも役立てていただきたいと思います。

どんな工事で市外業者が使われているか傾向を分析して、客観的事実を明らかにし、現在の制度をどのように変えれば市内業者への発注を増やすことができるのか、調査しています。

H26 年度より、教育委員会事業として「**地産地消の推進**」が明記され、H27 年度に**野菜貯蔵庫の整備や、学校・調理場間の協議などが行われる**ようになりました。



人にやさしい

暮らしにやさしい

環境にやさしい

志保さんに  
ちょっと  
聞いてみるんじゃけど



議員になって3年が経つね～市民活動をしていた  
時と議員になってからでは、どう違うかしら？



いちばんは責任の重さです。これから生まれる子  
ども達も含めて、すべての市民に関わる問題を判  
断しなくてはいけないので、いつも、とっても悩んでいます。  
そして、議会の中は、幅広い意見、時には相反する意見が  
あります。それぞれの議員が、それぞれの立場から市民の  
みなさんのことを考えての発言なので、自分と違っていて  
も、それぞれが大事な意見。市民活動では、考えの近い仲  
間との活動が多かったのですが、議会では、どうやって意  
見を調整するか、とても難しく感じています。



議員になって、いちばん大変な仕事は何かね？



市民のみなさんからお預かりした税金で行う事業  
や仕組みが、本当に役に立つのかどうか、有効に  
使われるのかどうかの調査がすごく大変です。



調査って、どういうこと？



例えば、3月議会での資料は、予算書も含めてザッ  
と1500ページくらい。その中で気になるものは、  
過去の資料を確認したり、国の制度や他市の事例を調べた  
り、場合によっては、現地を見に行く、当事者の方のお話  
をきく、ということもあります。

さらに大変なのは、新しく始める事業の場合です。例えば、  
駅前再開発の例では「賑わい創出」が目的とされていますが、  
その「賑わい」の中身として、私は単なる人通り、一時的  
な経済効果ではなく、市内での再投資につながるかどうか、  
つまり三原にお金が残っていくかどうかを重視すべきだと  
考えているのですが、それを実現しようと思うと、どうい  
う形の開発の場合にどれくらいの再投資力になるか仮説を  
立てて、比較検証をしなくてはいけない。「こうしてはどう  
ですか？」だけでは説得できないんです。



その「市内での再投資」って、どういうことか、  
ピンとこんのんじゃけど？



まちの機能を支えるお金の流れは、人間の体の血  
液循環のようなもの。出血多量になると体が持ち  
こたえられないように、地域内に入ってくるお金よりも外  
に出ていくほうが多いとまちが衰退してしまいます。「再投  
資」というのは、そのお金の循環のこと。三原市内ですべ  
て賄うのは無理にしても、長期的な視点を持ち、公共投資  
によって育てていくことが必要だと思います。



市議会では、志保さんは難しい質問をしていて、  
よく分からんのじゃけど…



本会議では、いちばん重視している「行財政改革」  
について質問することが多いんです。大事だけ  
難しく、取り上げる議員が少ないので、がんばっています。  
議会だよりには本会議での質問しか載りませんが、委員会  
では、もっと多岐にわたる質問をしています。本会議も委  
員会も、ぜひ傍聴においでください！

料金受取人払郵便



差出有効期間  
平成28年12月

31日まで

切手不要

723-8790

116

(受取人)

広島県三原市中之町南 1402-66

あんどう志保と

「みどりのはらっぱ」の会



< ホームページからダウンロードして下さった方へ >  
官製ハガキ厚さの用紙に、印刷、または貼り合わせていた  
だければ、期間内、切手不要でご利用いただけます。

◆お名前

◆ご住所 〒

◆この通信を配布して下さる方は必要部数  
をお書きください。お届けします。

( ) 部

《ホームページ》 <http://shiho-ando.com/>

《あんどう志保ブログ》

the morning star ～明けの明星～

[http://blog.goo.ne.jp/the\\_morning\\_star](http://blog.goo.ne.jp/the_morning_star)

質問をお寄せください！





## お便り、ありがとうございます。

◎お寄せいただいたメッセージから抜粋してご紹介します。

小学生の子どもが安藤さんを見かけたら「あ！安藤さんじゃ!!」って言うんです。親しみやすく、地域の行事では顔馴染みです。子どもは『安藤さん市議』なんてわかっていません。いつもニコニコしてて僕のお母さんとお話してるから友達なのかな。：くらいにしか思っていないんです。子どもが選挙権を得るような歳になった時「安藤さんってこういうことをしてくれてた人なんだ。」ってわかるんだと思います。安藤さんって未来に繋がっていく存在なんです。(30代・女性)

### 若き女性議員さんに望む・・・

安藤志保さんが市議会議員になられて3年が経ちました。若い女性議員として広い世代から支持と期待を集めての当選は、多くの市議が60歳を超える男性であるという現状に一石を投じる結果でした。

三原市で男女共同参画が唱えられ始めて、すでに20年近い年月が経過しましたが、女性市議は4名、三原市職員で課長級以上65名に含まれる女性はわずか3名です(三原市ホームページ 平成26年度資料より)。実際の人口構成とは著しくかけ離れた市議会、市役所職員の人事に、行政からトップダウンの形で始まった男女共同参画が、単なるパフォーマンス的政策であった感が否めません。平成28年三原市は女性職員の活躍推進プラン(第1期)を示していますが、平成31年までに課長級以上に占める女性職員の比率を7%にすることを目標としています。このように遅々として進まない三原市の女性登用の現状には、行政側の問題だけではなく女性の社会参画に対する意識の低さにも大きな問題があるように思います。

女性議員の皆さんには、独自の視点で市政に切り込んでいただき、市政をより身近なものとして市民に示す役割を担っていただきたい。若い世代を代表する安藤さんには、行政と市民をつなぐ存在として、女性の政治参加を推進していく大きなきっかけとなってもらえることを強く期待しています。(40代・女性)

立候補当初のマニフェスト内容をご自身で評価され、発信される姿勢に驚いています。そんな市議の方に会ったのは初めてのように思います。たくさんの情報発信やお誘いもくんだり、また三原のある地域について経緯がわからない部分への質問に對してもきちんとお調べいただき回答くださったことにも感謝ばかりです。いつも少し先からもう少し先の未来を見据えた議員という立場でのご活動をずっと応援させていただきたいです!!(40代・女性)

ブログやフェイスブックで活動報告をしてくださるおかげで、これまでは馴染みのなかった市議会議員さんの活動というものを身近に感じるようになりました。政治や政策に疎いので、内容に関してはついていけない部分が多いのですが、多岐に渡り精力的に活動されているご様子に、本当に頭が下がります。これからの活躍にも期待しております。

(40代・男性)

### 「あんどう志保とみどりのはらっぱ」の会アンケート

★2・5ページのマニフェストで、特に力を入れてほしいと思う項目は何ですか? 2ページ左の番号でお答えください。

番号( )理由

番号( )理由

番号( )理由

★ご意見がありましたら、ご自由にお書きください

集計のため、あなたのことを教えて下さい。

◆年齢 歳 ◆性別 ☒ 女 ☐ 男

◆同居家族は… ☒ 1人世帯 ☐ 夫婦のみ ☐ その他

ご協力ありがとうございます!



ゆうメール

■ ■ ■ 人・もの・自然を大切にするまちに！ ■ ■ ✕

## あんど志保と「みどりのはらっぱ」の会

TEL/FAX 0848-67-1779 TEL 080-2932-4879

〒723-0002 三原市中之町南 1402-66 メール andoshiho@gmail.com ホームページ <http://shiho-ando.com/>

### これからの予定

8/12(金) 第41回三原やっさ祭り  
13(土) 「ごみゼロボランティア」  
14(日) に参加しませんか？

会場／三原駅前にて  
詳しくは、ホームページをご覧くださいか、  
安藤志保までお問合せください。  
<http://ecoranger.jimdo.com/>

**速報！**  
私の公約が  
いよいよ  
実現！

市民参加で「森づくり」、未利用材の  
収集・搬出（「木の駅」のような形を  
想定）に向けて三原市が動き出す  
方針を決定しました。ご注目・  
ご参加・応援よろしくお願いします！

毎月  
第4金曜日  
19:00～

あんど志保と  
おしゃべり会



場所／当会事務所  
(三原市中之町南 1402-66)

議会よもやま話のほか  
テーマを設定しています。  
ご一緒に話を深めていければ嬉しいです。

- ・8月26日のテーマ  
「自然災害に備えていますか？」
- ・9月23日のテーマ  
「森林資源の保全と活用に向けて  
『みはらの森づくり』！」

\*日時や場所が変更されることもあるので事前にお電話やホームページ等でご確認ください。

### サポーター募集中!!

できる事を持ち寄ってあんど  
志保をサポートしてください！

- ・通信発行作業・配布・事務作業
- ・調査研究・おしゃべり
- ・おしゃべり会の企画・問題提起  
etc...

### あんど志保の基本姿勢

- ✕ 組織や団体にしばられず、自分で考え行動すること
- ✕ 市民の目線で、税金の使い方をチェックすること
- ✕ 将来にツケをまわさない「未来への責任」を持つこと
- ✕ 課題の解決とともに、問題の予防に力を注ぐこと
- ✕ 批判するだけでなく、具体的な政策を提案すること